

科目名 Course Name	ピアノレパートリー Piano Repertory						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	中沢 充恵 川田 将人						
連絡先(質問等)	講義棟 1 階、オフィスアワー(水・金) 電話番号・メールアドレスは授業中に指示						
必修/選択	選択(保育士養成課程選択)						
関連 DP	DP2,DP3,DP4						
授業の概要と到達目標	<p>音楽を通して幅広い表現活動を可能にするために、ピアノ演奏および弾き歌い、伴奏法の習得を図る。授業ではクラシック・幼児曲・その他、受講生の希望する楽曲を指導し、保育現場で実践できるレパートリーを増やす。多くの楽曲に触れることにより、保育現場で子どもの情操を養うことのできる音楽性の高い演奏をすることを目指す。また、採用試験での課題や内定先から提示された楽曲の指導も積極的に行う。</p> <p>この授業の到達目標は以下の4つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 楽曲の内容や指導のねらいを持って、子ども達に表現指導ができるようにする。 ② 楽語や記号、フレージングなど楽譜からの情報を豊かな表現に繋げることができるようにする。 ③ コードネームの基本を理解し、簡単な伴奏で多様な幼児曲を演奏することができるようにする。 ④ 人前で演奏することを意識したピアノ伴奏、保育者としての意識を持った弾き歌いができるようにする。 						
授業の方法	ピアノ実技を中心とした演習(実技)形式で行い、受講生は個人レッスンを受け、弾き歌いの実践や高度なピアノ曲の習得を目指しレパートリーを増やす。授業内容は各学生の能力に応じた楽曲、または各自選曲した楽曲の指導を行い、発表も行う。以下には標準的授業計画を示す。						
学習成果	L01	簡単なコードを使って楽曲を演奏することができ、幼児曲の伴奏や弾き歌いに発展させることができる。					
	L02	豊かに表現する喜びを享受し、保育者として子どもたちの表現活動を指導することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。						
教科書/参考図書	改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、就職試験課題曲、その他(自由曲)						
履修上の留意点やルール等	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室 (MR I、MR II、レッスン室)では、飲食持ち込み禁止とする。●事前、事後学習に費やす時間の目安は 45 分とする。						
担当教員の実務経験	●中沢 (職種:ピアノ講師 職歴:通算 31 年) ピアノレッスンにピアノ指導の経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	与えられた課題を事前事後の学習として練習して授業に臨んでいるか、レッスンの内容を実践に繋げているかを評価する。	30			
レポート/作品					
発表	担当教員の前で課題曲 1 曲演を奏し、曲の難易度と表現力を 50 点満点で評価する。		50		
小テスト					

試験				
その他	楽曲を何曲レパートリーにできたか、進捗について評価する。		20	
合計		30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、評価方法、受講上の注意、担当者別による教材の選定と課題
	事前・事後学習	選定した曲を正確に読譜して完成させられるように、時間を定めて取り組む。
2	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ①どんぐりころころ
	事前・事後学習	16分音符の長さや運指に注意し、表情豊かな弾き歌いを体得する。
3	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた②やきいもグーチャーパー バスごっこ
	事前・事後学習	付点のリズムや手遊びができる速さに注意しながら、表情豊かな弾き歌いを体得する。完成した曲も継続して弾く。
4	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた③あわてんぼうのサンタクロース コンコンクシヤンのうた
	事前・事後学習	右手にメロディーを置かない伴奏形の曲を拍子を崩さないようにリズムカルに弾き歌いをする。完成した曲も継続して弾く。
5	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた④ジングルベル 雪
	事前・事後学習	へ長調(♭シ)のスケール練習もしながら、調性を意識し、表情豊かな弾き歌いができるように練習する。完成した曲も継続して練習し、レパートリーを増やす。
6	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた⑤思い出のアルバム
	事前・事後学習	8分の6拍子の曲の流れに乗って、歌詞を大切に歌いながら演奏できるように練習する。完成した曲も継続して練習し、レパートリーを増やす。
7	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた⑥1年生になったら 自由曲の選定
	事前・事後学習	右手にメロディーを置かない伴奏形の曲をリズムに注意し、付点のリズムを弾ませて演奏できるように練習する。その他自由曲を選定する。
8	授業内容	自由曲演奏①(例:ディズニー) 弾き歌いのポイント 姿勢、発声
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、正確に読譜し、弾けるようにする。弾き歌いレパートリーも姿勢よく、保育現場で必要な大きさで歌うように練習する。
9	授業内容	自由曲演奏②(例:ディズニー) 弾き歌いのポイント:うたとピアノのバランス
	事前・事後学習	メロディーラインを歌い、強弱記号や速度記号にも注意しながら練習する。弾き歌いレパートリーも歌詞の内容に沿った表情豊かな歌い方をする。
10	授業内容	自由曲演奏③(例:ジブリ) 弾き歌いのポイント:リズムの取り方、演奏のテンポ
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、正確に読譜をし、弾けるようにする。弾き歌いレパートリーもリズムに注意し、子どもたちが歌いやすいテンポで弾けるようにする。
11	授業内容	自由曲演奏④(例:ジブリ) 弾き歌いのポイント:コード(C-G-F)を使った簡易伴奏
	事前・事後学習	メロディーラインを歌い、強弱記号や速度記号にも注意しながら練習する。簡単なメロディーに(C-G-F)のコード伴奏を付けられるようにする。※テキスト コード早見表参照
12	授業内容	自由曲演奏⑤(例:さよならぼくたちのようちえん) 弾き歌いレパートリー:ポイント コードネーム(セブンス)を使った簡易伴奏
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、楽譜からの情報を練習する。簡単なメロディーに(セブンス)のコード伴奏を付けられるようにする。※テキスト コード早見表参照
13	授業内容	自由曲演奏⑥(例:さよならぼくたちのようちえん) 弾き歌いレパートリー:ポイント コードネーム(マイナー)を使った簡易伴奏
	事前・事後学習	楽曲を人前で演奏することを意識しながら完成させられるように練習する。簡単なメロディーに(マイナー)のコード伴奏を付けられるようにする。※テキスト コード早見表参照
14	授業内容	自由曲演奏⑦ 楽曲の完成
	事前・事後学習	楽譜からの情報に注意し、豊かに表現でき、音楽的に演奏出来るように完成させる。

15	授業内容	自由曲発表 発表の講評 今後の課題 及びアドバイス
	事前・事後学習	自由曲の講評に基に、今後のレパートリー曲に挑戦する。

回数		授業計画
1	授業内容	
	事前・事後学習	
2	授業内容	
	事前・事後学習	
3	授業内容	
	事前・事後学習	
4	授業内容	
	事前・事後学習	
5	授業内容	
	事前・事後学習	
6	授業内容	
	事前・事後学習	
7	授業内容	
	事前・事後学習	
8	授業内容	
	事前・事後学習	
9	授業内容	
	事前・事後学習	
10	授業内容	
	事前・事後学習	
11	授業内容	
	事前・事後学習	
12	授業内容	
	事前・事後学習	
13	授業内容	
	事前・事後学習	
14	授業内容	
	事前・事後学習	
15	授業内容	
	事前・事後学習	
16	授業内容	
	事前・事後学習	
17	授業内容	
	事前・事後学習	
18	授業内容	
	事前・事後学習	
19	授業内容	
	事前・事後学習	
20	授業内容	
	事前・事後学習	
21	授業内容	
	事前・事後学習	
22	授業内容	
	事前・事後学習	
23	授業内容	
	事前・事後学習	
24	授業内容	

	事前・事後学習	
25	授業内容	
	事前・事後学習	
26	授業内容	
	事前・事後学習	
27	授業内容	
	事前・事後学習	
28	授業内容	
	事前・事後学習	
29	授業内容	
	事前・事後学習	
30	授業内容	
	事前・事後学習	